

DREAM



令和5年度
チャレンジクラブだより第1号
発行日 令和5年6月13日
教育委員会地域の元気づくり課
(TEL83-5407)

第1講 「旭山動物園裏側体験」活動報告

第1回目のチャレンジクラブ「旭山動物園裏側体験」は、東神楽小7名・東聖小30名、合計37名の参加者で実施しました。良い天気にも恵まれ、予定通りの活動を行うことが出来ました。それでは、第1講の活動の様子を報告します。



裏側体験は午後から行いました。動物園教育係担当者のかみえさんの案内で、カバ舎の裏側を見学することが出来ました。カバは2トンの重さがあり、寿命は50歳ほど、1日のえさの量は20kg。カバ舎の中は、多少の臭いを感じましたが、よく手入れがされていてきれいでした。カバはきれい好きなのだそうです。カバは草しか食べないので、臭くはないのだそうです。むしろ雑食の人間の方が臭いということです。飼育員の仕事について説明がありました。普通の動物園では、「えさやり、体調管理、そうじなど」ですが、旭山動物園では、加えて「手書きの看板づくり、ガイド活動、餌箱など手作りしているものを作る」ことが特徴的なことだそうです。飼育員さんがいてこそ動物たちは快適に過ごすことができるのだと感心しました。最後に、動物園の役割を教えてもらいました。「昔は単に楽しむ場所だったが、今はホッキョクグマやオランウータンなど地球上から絶滅が危惧されている動物がとても増えてきている。そうした動物の現状を知ってもらうことが大事なことです。」話を聞きながら熱心にメモを取っている子どもたちがたくさんいました。



園内の見学は、グループで行いました。思い思いに園内中をくまなく回っていました。動物を観察するだけでなく、元気いっぱい活動していました。



天気が良かったので、昼食は、外で食べる子たちが多かったです。外だとなおさらおいしそうでした。